

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.31)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況等について

10月の運転は、コンデンサとトランスを下記の操業実績表のとおり処理しました。

現在の処理量は、施設の処理能力の50%程度ですが、安全で確実な処理を最優先とし、処理台数を少しずつ増やしていく予定です。

【18年10月の操業実績】

| 種別 | 受入台数 | 抜油・解体台数 |
|--------|------|---------|
| コンデンサ | 322台 | 308台 |
| 大型トランス | 4台 | 4台 |
| 小型トランス | 12台 | 12台 |

※コンデンサは、一時的に立体倉庫で保管してから計画的に処理ラインに投入するので、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



分析作業状況

〔PCB廃棄物の処理分析について〕

PCB廃棄物の無害化処理の完了は、各部材ごとに国が定めた分析方法で確認します。そして、分析結果が基準値以下であるかどうか確認することを「卒業判定」といいます。卒業判定でPCBが確実に無害化したことを確認した後、鉄や銅はリサイクルとして、その他は産業廃棄物として施設外に搬出します。

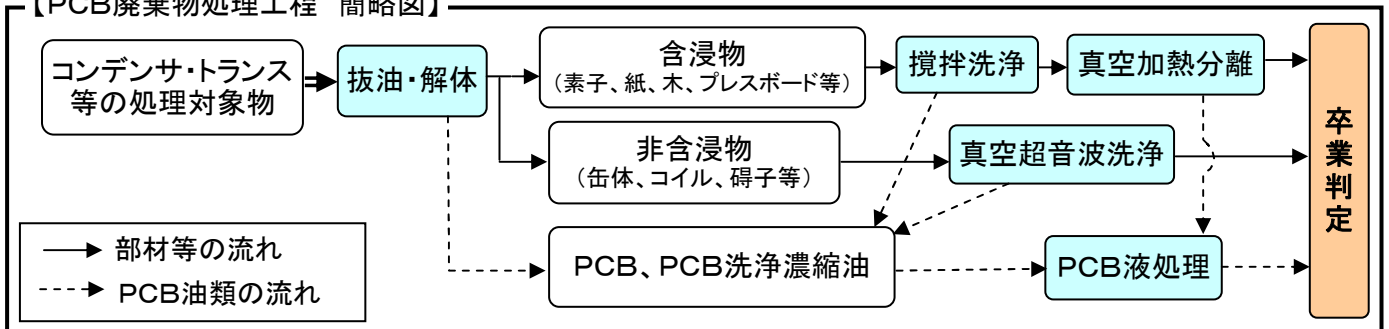
豊田PCB廃棄物処理施設では20名の分析員を配置して、24時間体制で卒業判定を行っています。

分析は卒業判定のほかにも、洗浄溶剤や排気・排水の分析などを行い各設備の健全性を確認しています。また、定期的に外部分析機関が測定した分析結果との比較を行い、施設内の分析結果をチェックしています。



PCBなどの質量分析機器(GC-MS)

【PCB廃棄物処理工程 簡略図】



2. PCB廃棄物の11月受入計画

11月のPCB廃棄物の受入は、施設の処理計画に合わせ右表のとおり計画しています。

コンデンサは、豊田市内の13保管事業者と愛知県内の6保管事業者から331台を受入れます。また、大型・小型トランスは愛知県内の5保管事業者から14台を受入れ、静岡県内の保管事業者から車載型トランス1台を受入れる予定です。

現在、安全を最優先に処理量を制限し、受入台数も制限しています。今後、施設の処理計画に合わせて受入台数を少しずつ増やしていく予定です。

【18年11月の受入計画】

| 種別 | 受入予定台数 |
|--------|--------|
| コンデンサ | 331台 |
| 大型トランス | 4台 |
| 小型トランス | 10台 |
| 車載トランス | 1台 |

3. ISO14001認証取得について

豊田事業所は、来年5月のISO14001認証取得に向けて、環境マネジメントシステム準備委員会を毎週1回開催し、環境マニュアル、規程等の整備を行っています。

事業所の環境方針を紹介します。環境方針は、組織の理念によって決定される環境への取り組みの基本方針で、環境マニュアルや規程等の基礎となるものです。(次頁参照)

環 境 方 針

日本環境安全事業株式会社 豊田事業所は、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県で保管されているポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物処理を事業主体として設立された国の環境政策を実行する事業者であり、安全で確実な処理と情報公開による社会からの高い信頼のもとに、期限内に処理事業を遂行することで地球環境の保全に貢献します。

- 1 平成27年3月までに、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県に保管されているPCB廃棄物処理完了を目ざし、事業を推進します。
- 2 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」をはじめ、当事業所の環境側面に関係する法的要求事項、及び当事業所が同意する自治体との約束等その他の要求事項を順守します。
- 3 環境目的及び目標を設定し、また定期的に見直しを実施します。
- 4 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、事業活動による排気、排水、残渣等が環境に影響を与えないよう、徹底した管理を実行し、汚染の予防に努めます。
- 5 環境保全活動にかかわる情報を積極的に開示し、全ての利害関係者の理解と信頼の確保に努めます。
- 6 事業所で働く全ての人にこの環境方針を周知するとともに、広く一般の人々に公開します。

4. 大阪PCB廃棄物処理施設の開業等について

弊社の大阪PCB廃棄物処理施設(大阪施設)が、10月よりPCB廃棄物の処理を開始し、10月12日に開業式を行いました。

大阪施設は、北九州、豊田、東京に続いて全国4番目に開業した施設で、近畿2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)のPCB廃棄物の処理を行います。

また、本年3月と5月にPCBの漏洩事故を起こし、操業を停止していた東京PCB廃棄物処理施設(東京施設)が、施設の安全性と健全性を確認し、東京都並びに江東区から運転再開の承認をいただき、10月23日から運転を再開しました。

このため、開業している4事業全てにおいて全国のPCB廃棄物の処理を実施しています。弊社においては、職員一同、安全を最優先にPCB廃棄物の確実な処理を進めていきます。



10月から開業した大阪PCB廃棄物処理施設

【大阪施設開業についてのホームページ】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/osaka/pdf/1610open-prelease3.pdf>
【東京施設運転再開についてのホームページ】<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/pdf/tokyosaikai061019.pdf>

5. 豊田施設の見学について



施設見学の様子

9月、10月では、保管事業者の企業をはじめ、行政、電気関連等の諸団体から多くの方が施設見学されました。

(9月:8団体85名、10月:13団体149名)

また、11月、12月も多くの予約をいただいております。

施設見学を希望される方は、下記ホームページをご参照のうえ、事前に豊田事業所総務課(0565-25-3110)までお問い合わせください。日程調整のうえ、申込を受付させていただきます。

【施設見学についてのホームページ】

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/facility/tour.html>

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>